

インド総選挙の出口調査発表解禁

ポイント① インド総選挙の出口調査が解禁

インド総選挙は5月19日に全ての投票が終わり、出口調査の発表が解禁されました。投票は選挙区によって7回の投票日に分けられ、4月11日から約1ヵ月半続きました。開票は5月23日に行なわれます。

現地メディアや調査機関など10社の平均で、インド人民党が主導するNDA(国民民主同盟)は304議席を獲得すると予想されています。前回2014年の総選挙で獲得した336議席には及ばないものの、過半数272を約30議席上回っています。投票前の3-4月に実施された世論調査では260-280と過半数近辺が予想されていたため、事前想定よりもインド人民党にとって良好な内容となりました。

ポイント② 公式発表への洞察

現地では出口調査は事前の世論調査よりは精度が高いと言われており、モディ政権が2期目に入る見込みが高まったと考えられます。ただ、2004年には、出口調査の予想に反してインド人民党が敗北するというサプライズがありました。5月23日の開票結果を見守りたいと思います。

ポイント③ マーケットは大いに好感

出口調査の報道を受けて、20日のインドの市場は大きく上昇しました。マニフェストで示されていた農業・インフラ部門における積極的な投資、金融緩和を含む景気刺激策の継続、金融部門や労働関連法の改革進展などが期待され、為替、債券、株価はトリプル高となりました。特に、S&P BSE SENSEX指数は終値ベースで史上最高値を付けました。

図1：インド総選挙の出口調査結果

調査機関	NDA ※1	UPA ※2	その他
India Today-My Axis	339-365	77-108	79-111
Today's Chanakya	350	95	97
News18-IPSOS	336	82	124
Sudarshan News	313	121	109
Times Now-VMR	306	132	104
Republic TV-Jan Ki Baat	305	124	113
Cvoter	287	128	127
News Nation	282-290	118-126	130-138
ABP News-AC Nielsen	267	127	148
NewsX-Neta	242	164	137
平均	304	119	119
(参考)			
2014年総選挙結果	336	59	148

(出所) 各種調査機関の情報を基に野村アセットマネジメント作成

※1 NDA (国民民主同盟)：インド人民党が率いる与党連合

※2 UPA (統一進歩同盟)：国民会議派が率いる野党連合

図2：5月20日のマーケットの反応

	インドルピー-円	5年債利回り	SENSEX指数
4月30日	1.6018円	7.34%	39,032
5月17日	1.5674円	7.12%	37,931
5月20日	1.5781円	7.03%	39,353
騰落率・差 (17日→20日)	0.7%	-0.09%	3.7%

※インドルピー円とSENSEX指数は騰落率、5年債利回りは騰落差

(出所) Bloombergデータを基に野村アセットマネジメント作成

重要
イベント

6月6日
6月12日

インド 金融政策発表
インド 鉱工業生産指数(4月)

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。